

国立大学法人信州大学 「適正な年齢・職位構成について」



令和3年3月17日

- ・ 本学では、文部科学省から示された「国立大学法人等人事給与マネジメント改革に関するガイドライン（2019年2月25日）」に基づき、教育研究力の向上に資する人事給与マネジメント改革を推進している。
- ・ 今後の課題として、若手研究者の安定的なポスト確保のため、教員の適正な年齢・職位構成の検討と計画的配置が求められている。

本学において、教員の適正な年齢・職位構成を以下のとおり定め、中長期的な人事計画及び戦略的な教員配置を目指します。

1. 本学が目指す年齢構成

55歳未満の常勤教員の割合を70%以上とし、うち40歳未満の若手教員の割合を20%以上とする

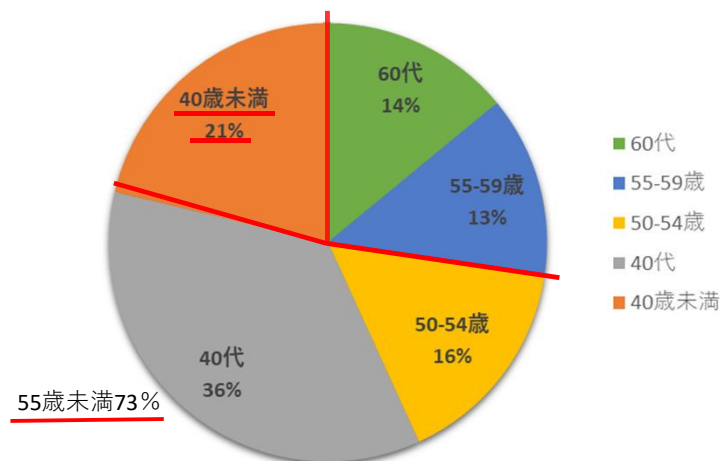
各学系は上記の年齢構成を考慮した人事計画の策定に努めるものとする

2. 本学が目指す職位構成

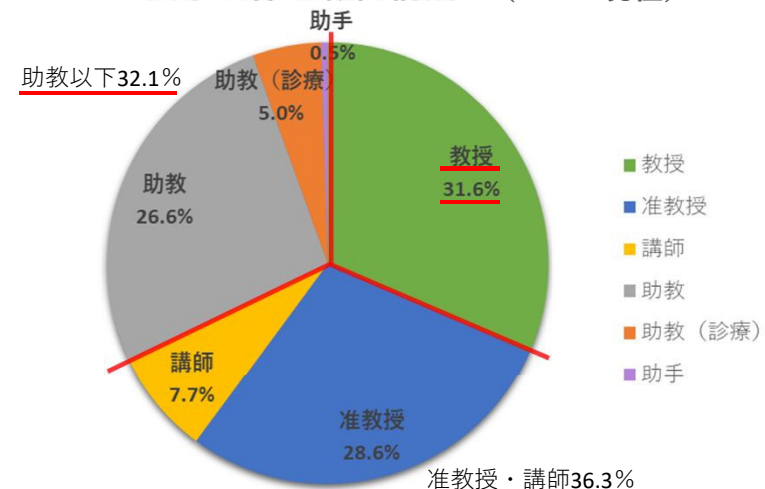
常勤教員の職位の割合を「【教授】：【准教授・講師】：【助教以下】」＝「1：1：1」とする

※上記の構成には特定雇用教員を含む

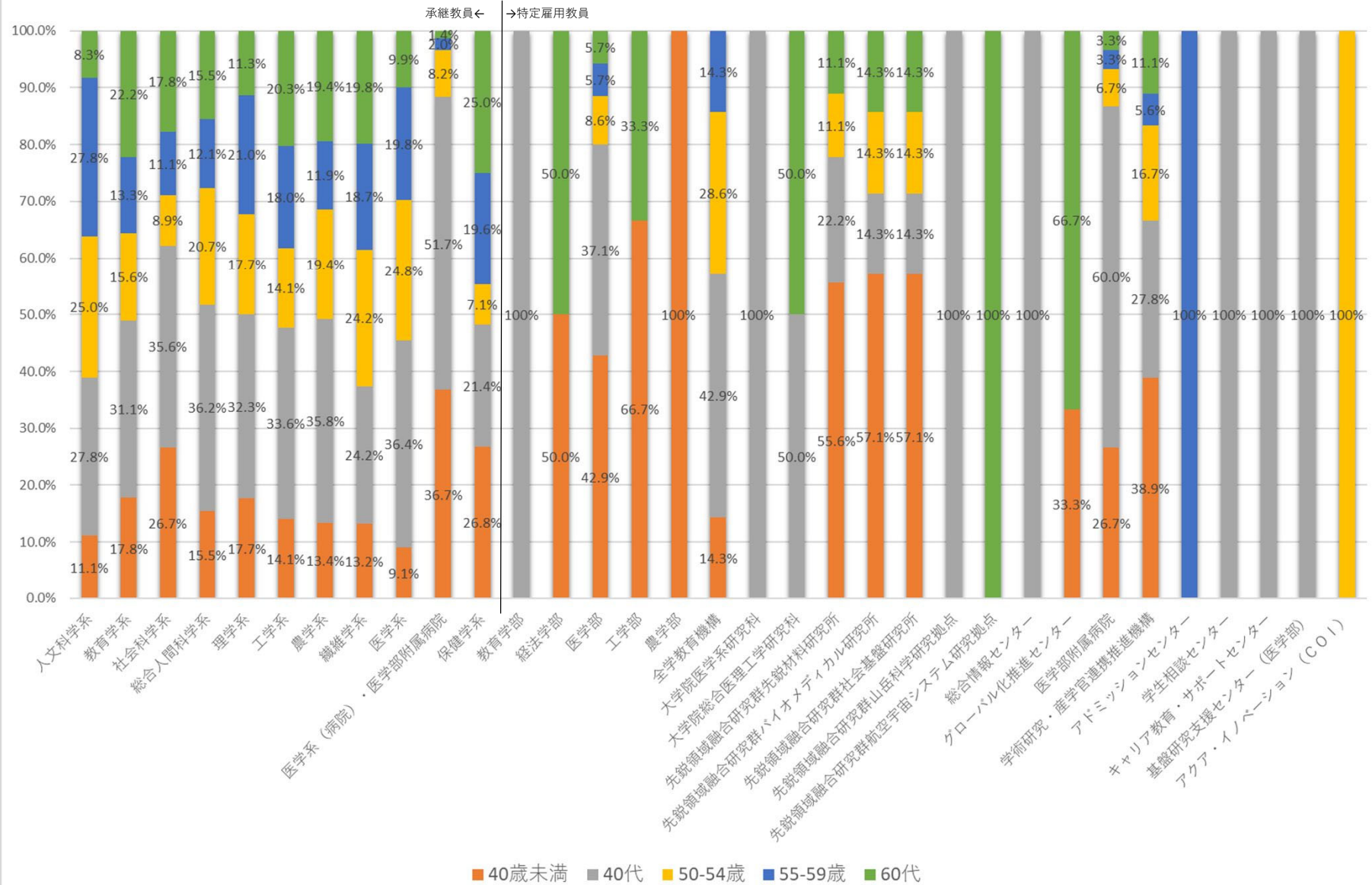
大学全体の年齢構成（R3.3.1現在）



大学全体の職位構成（R3.3.1現在）



学系・部局別年齢構成（R3.3.1現在）



学系・部局別職位構成 (R3.3.1現在)

